

『生きていく力』 ヨハネの福音書 14章1～6節 2017.3.5(聖日礼拝説教より)

『…あなたを形造った方、主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの…わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。』
イザヤ 43:1、4

主が言われた「わたしがいのちなのです」とは「父のみもとに行くこと」。父なる神の御許に帰ることが「いのち」！聖書が伝える「いのち」とは何か？

❶2種類の「いのち」… 柏木哲夫氏(クリスチャン精神科ドクター)は、①生命「生きる力」と、②いのち「生きていく力」を分けて説明。①は医療の対象！有限で、閉鎖的で、客観的(数値で測れる)。②は無限で終わりがなく、開放的(互いにつながり、影響し合い)で主観的(「いのち」の重さは測れない)。聖書で「いのち」は2種類。「①プシュケー」と「②ゾーエー」。①は、神が命あるものに与えた「身体、寿命(マタイ 6:25、ヨハネ 10:11 など)」の意味で、②は、人間だけに与えられた、神との愛の交わりとしての「いのち(マタイ 7:14、ヨハネ 3:16、14:6 など)」。神は与えた「いのち」の故に人を何よりも尊び、慕い、交わりを求め、「あなたは大切だ」と、歴史を通し、聖書を通して、語り続けておられる！

❷神の愛とともに輝く「いのち」…イザヤ 43:4『わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している』とある。そもそも人の価値や尊さを決める「基準」は何なのか？ダイヤモンドや金の価値は希少価値。確かに全ての人は、世界に唯一人しかおらず、希少価値がある！しかし本当の価値はそれ以上！どんなに汚れてボロになっても絶対に捨てられないお人形のように、持っている者にとって価値があり、絶対に捨てられない宝物がある。人は、命を与えた神様にとって尊く、大切な愛の対象なのである！私たちがどんなに罪に汚れ、不真実で、神を裏切ろうとも、あの方は、まるで全て見通していたかのように救いの道を用意される！Ⅰコリ 10:13にある通り、父なる神は、その愛する子どもたちのために、あらゆる罪汚れ・試練からの逃れの道を、初めから備えておられた！しかし天におられる神が、どのようにして、地上に住む私たちに「その道」を伝えられるのだろうか？2017年前、天から世に遣わされた独り子の神・イエス・キリストが言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません(ヨハネ 14:6)』。キリストこそ、地上の生涯と御国の永遠を生きていく力を私たちに与えられる唯一のお方！

★自分も隣人も、与えられた、高価で、大切な「いのち」を輝かせて生きるために、天の父なる神様は、今日、あなたに何を求めておられるでしょうか？